

令和元年度行政評価 施策評価シート (平成30年度実績)

施策名 道路環境の充実

施策コード 060102

1. 施策の担当	
主管課	都市整備部 道路公園課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第6章 心地よく、くつろぎを感じるまちづくり (快適・憩い)	節 第1節 道路・交通
	施策	道路環境の充実	

基本方針

- 生活道路を多様な機能を有する生活空間とするため、誰もが安全で快適な道路環境の充実をめざします。
- 市民生活に密着した市内全域の生活道路を改良することにより、地域の実情をふまえながら、子どもや高齢者をはじめ、すべての人々を対象に快適性を重視しつつ、利便性と安全性の向上をめざします。

現況と課題

- 生活道路は、地域交通を円滑にするだけでなく、歩行者に優しく、周辺環境とも調和した快適な空間であることが求められます。
- 生活道路や橋りょうなどは、歩行者や自転車及び自動車などが安全で快適に通行できるよう、今後も計画的に整備や改良を進め、歩道の設置などを推進していく必要があります。
- 本格的な少子高齢化社会の到来に対応して、生活道路がすべての人に優しい公共空間となるよう、道路のユニバーサルデザインなど、歩行者の快適性の向上を図ることが重要になっています。

施策目標
 対象 (誰を、何を、どこを)

市民

意図 (どのような状態にしたいのか)
 道路ネットワークなどの交通基盤整備を進め、交通の円滑化を図り都市の活力と魅力を生み出す交通体系を形成します。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	30.4						37.8
重要度 (偏差値)	53.7						53.8

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	単位	H29決算	H30決算					
	千円	77,418	82,528					
	事業費	178,646	168,413					
財源内訳	フルコスト	256,064	250,941					
	千円							
	国庫支出金	0	0					
	府支出金	483	740					
	市債	0	0					
	その他	23,624	23,431					
一般財源1 (=フルコスト-特定財源)	231,957	226,770						
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	154,539	144,242						

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1 道路改良路線数							
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0		
実績値	13.0	11.0	11.0	12.0	15.0		
達成度	130.0	110.0	110.0	120.0	150.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
着手路線数 (整備路線数) の増加により、地域の交通利便性や安全性、快適性が向上し、人に優しい道路環境が充実する。		過年度の実績等により、1年間の改良路線数を10路線と設定。今後5年間で50路線、10年間で100路線を目標値とした。			毎年10路線を目標設定しているが、年度毎に要望内容が異なり1路線の事業費も違っている。平成30年度は15路線を実施した。		

② 成果指標 2		橋りょう修繕箇所数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0		
実績値	1.0	2.0	1.0	1.0	0.0		
達成度	100.0	200.0	100.0	100.0	—		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
橋りょうの修繕により、交通の安全性が向上する。		平成26年4月に策定した橋梁長寿命化修繕計画による優先順位及び各年度の事業費の平準化を勘案し、H26年度以降1橋と設定した。平成30年度は橋りょう点検を実施するため、0橋とした。			平成30年度は施工がなかった。		

成果指標①		成果指標②	

6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	平成30年度15路線の道路改良を実施。今後も良好な道路環境整備に努める。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 1	満足度が平成24年度30.4から平成30年度37.8と向上している。生活道路の劣化等の苦情、道路新設改良に対する地元要望は高い。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	生活密着型で必要な基盤整備は進めるべきとの潮流がある。
	合計点	(10点中) 7点	
	総合評価	B	予算の削減に伴い舗装劣化の進んだ生活道路が増え、市民並びに地元要望が増えている。今後は国庫補助を活用しながら舗装の更新を行い安全性の向上を図っていきたい。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		B	引き続き、道路・橋梁の安全で適切な維持に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		B	引き続き、道路・橋梁の安全で適切な維持に努めること。

7. 施策を構成する事務事業						
	予算コード	事務事業名	H30年度決算額			一次評価
			人件費	事業費	一般財源	
1	01037410	土木管理事業	42,796	10,010	8,921	B
2	01037420	りんくうタウン共同溝管理事業	264	33,620	10,538	B
3	01039200	道路等施設保全事業	19,734	47,043	47,043	B
4	01070140	道路維持事業	19,734	77,740	77,740	B
合計			82,528	168,413	144,242	